

第1回警察署協議会の意見・要望の進捗状況の回答

○ヘルメットの着用率向上について

【回答】交通課長

本年5月時点での羽島警察署管内の年齢別ヘルメット着用率は、小中学生が100%、高校生9.3%、その他8.5%となっており、県下全体では小中学生が100%、高校生が約10%となっています。

よって、高校生の自転車利用時のヘルメット着用率向上に向けて、署長が管内全ての高校を訪問して校長に対し、着用の重要性を説明するとともに各種学校に対しても交通講話等により浸透を図っています。

また「カリメロプロジェクト」と題して「ぼくはカリメロ」の替え歌を各種イベントで使用し、ヘルメット着用の重要性を広報しています。

○人感センサー機器による子供の音声による特殊詐欺防止の注意喚起について

【回答】生活安全課長

第1回警察署協議会終了後、岐南町の各種金融機関に取組への協力を依頼したところ快諾を得ました。

現在機器の購入も終わり、岐南町内のこども園に協力してもらい近日中に詐欺被害への注意を呼びかける園児の声を録音し、9月中旬に各支店のATMコーナーに機器を設置予定となっています。

○通学路における見守り活動の継続について

【回答】地域課長

各交番駐在所では、日常勤務の中で登下校時間帯を中心とした見守り活動を推進しています。

「この場所を実施したら効果的では」という意見があれば業務に反映していきたいと考えています。

○通学路上への私有地からはみ出した草木について

【回答】地域課長

各交番駐在所では日頃から住民の様々な要望苦情、相談に対し、これに答えるよう事案内容に応じた対応をしています。

本件も交番員が公共の場（道路・補導）への通行に支障を及ぼして状況があるため、土地管理者に連絡を実施し、伐採するとの回答を得ています。

○大学生による薬物事案の情勢について

【回答】刑事第2課長

県内の大学生による大麻事件など、10代、20代の若者の中で薬物の内特に大麻乱用が大きな問題になっています。

県内では、令和5年上半期中、大麻事件で少年7人を検挙、未成年者も多数検挙されています。

大麻の危険性を正しく認識していないことが要因とみられ、検挙活動と同時に学校における薬物乱用防止教室により、危険性を正しく認識する広報啓発活動を行っています。